

花の実ごころ

今回は、この時期に実ごころを迎えるナンテンを紹介します。



ナンテン (南天) メギ科ナンテン属
学名: *Nandina domestica*

国内では暖地の山地に自生し、庭木にも良く植えられている一属一種の植物です。

日本で最初の植物図鑑と言われる江戸時代の本草図譜（右図：国立国会図書館デジタルコレクション）にも掲載され、「難を転ずる」の語呂から縁起のいいものとされています。

ナンテンの実は、咳や喉荒れに効く生薬として古くから利用されていました。

公園の紹介

動画共有サービス YouTube にて各公園の情報を発信しています。
YouTubeサイトで検索Qマークに「東京都公園協会」、「TOKYO EAST PARK」、「西武・パークレンジャー」と入力してください。

イベント情報

都立公園イベント情報については

または、下記のアドレスにアクセスしてください。

https://www.metro.tokyo.lg.jp/event/index_calendar.html

◇花の見ごろ情報は、年6回（2ヵ月ごと）の発行を予定しています。

◇花の見ごろ情報のホームページ

<https://www.kensetsu.metro.tokyo.lg.jp/jigyoku/park/hananomigoro/index.html>

または、花の見ごろ情報東京都建設局で検索してください。過去の情報もご覧いただけます。

東京都建設局公園緑地部 03-5320-5372,5365

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

印刷物規格表第1類

登録番号 (4) 51

花の見ごろ情報

2023

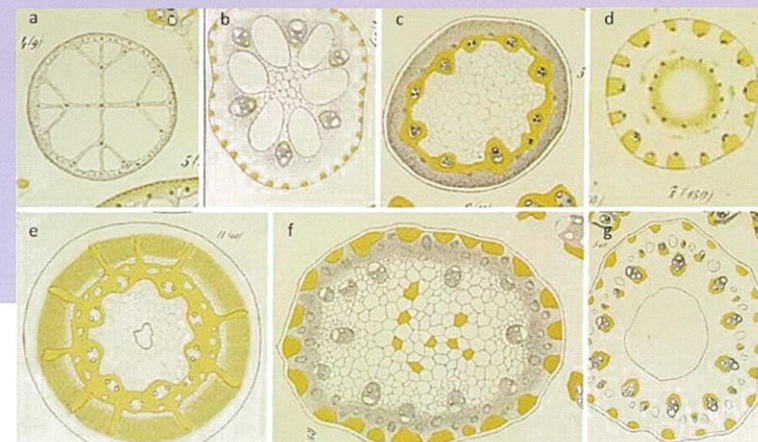
1・2

今月の花



スイセン

維管束



都立公園散策アプリ「Tokyo Parks Navi」



Android版 iOS版

スイセン (水仙) ヒガンバナ科スイセン属 Narcissus

スイセンは早春に花を咲かせ、春を告げる球根植物です。

スイセンの原種は25~30種類程度あり、RHS (英国王立園芸協会) には1万を超す品種が登録されて12系統に分類されています。

系統によって、早いものでは11月中下旬頃、遅いものは4月に開花し、夏には枯れて休眠します。

漢名の「水仙」は、仙人のように寿命が長く、水辺で育つ清楚な草で「水中の仙人」の意味に由来します。

また、学名の Narcissus は、泉にうつる自分の姿に見とれ、その姿に焦がれ水仙の花に化したというギリシャ神話に登場する美少年ナルキッソスに由来します。

スイセンは、台場公園、葛西臨海公園、清登庭園、秋留台公園、井の頭恩賜公園、浜離宮恩賜庭園などでご覧いただけます。

葉痕と冬芽

冬になって葉が落ちると、公園内のあちこちで小人たちの面白い顔が見られるようになります。

右頁の写真、人や動物の顔に見えませんか。冬芽の部分が頭、葉痕の部分が顔のようです。

葉痕は、枝に付いていた葉が落ちた後の維管束の痕跡です。

維管束は、水や養分を運ぶ管や植物の骨格を構成する重要な組織です。中学校の理科の時間に顕微鏡で表紙下の図のような維管束を観察した方も沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。

虫眼鏡を持って、冬の植物の観察に出かけてみてください。どこかで見た顔が見つかるかもしれません。

※表紙(維管束図): スイスの植物学者Simon Schwendener の図を転載

お問合せ先

● 台場公園: 港区台場1	☎03-5500-0385
● 葛西臨海公園: 江戸川区臨海町6-2-1	☎03-5696-1331
● 清登庭園: 江東区清澄3-3-9	☎03-3641-5892
● 秋留台公園: あきる野市二宮673-1	☎042-559-6910
● 井の頭恩賜公園: 武蔵野市御殿山1-18-31	☎0422-47-6900
● 浜離宮恩賜庭園: 中央区浜離宮庭園1-1	☎03-3541-0200

